



# 危機の時代Ⅱ

— しなやかな社会を目指して —

## 開催日時

全6回

第1回

5月28日(土) 14:00～16:10(開場13:00)

### 歪むネット社会の心理

—承認欲求の病理とどう向き合うか—

高橋 克也 教授 (大学院人文社会科学研究所)

第2回

6月18日(土) 14:00～16:00(開場13:00)

### 数学の歴史

—数学史におけるいくつかの有名な問題—

コスキヴィルタ ジャンステファン 准教授 (大学院理工学研究所)

第3回

7月16日(土) 14:00～16:00(開場13:00)

### 日本の農業における危機と未来

—スマート農業を支えるセンサ技術—

長谷川 有貴 准教授 (大学院理工学研究所)

第4回

8月27日(土) 14:00～16:00(開場13:00)

### 人口・経済・社会の危機と日本型福祉国家の未来

大津 唯 准教授 (大学院人文社会科学研究所)

第5回

9月17日(土) 14:00～16:00(開場13:00)

### 多様な文化と生きる

—外国につながる子どもたちと教育—

磯田 三津子 准教授 (教育学部)

第6回

11月5日(土) 14:00～17:10(開場13:00)

### 災害につよいまちづくり

—「彩の国」市民科学オープンフォーラム—

田中 規夫 教授 (レジリエント社会研究センター)

会場／埼玉大学全学講義棟 1号館3階 (1-301講義室)

定員／200人 (定員を超えた場合は同棟 1-304講義室で  
モニター受講となります。)

対象／どなたでも受講できます。

高校生、大学生の皆さんもぜひご参加ください。

**事前のお申込みは必要ありません。**

※全6回中、5回以上受講された方には「修了証」を差し上げます。

### 【新型コロナウイルス感染対策について】

- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・当日、発熱または体調不良の方は、ご参加を遠慮願います。
- ・ご入場時は、必ず入口での消毒にご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日程や開催方法、会場等に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください、大学ホームページをご確認ください。

### 【その他】

- ・各回とも手話通訳を行います。(事前のお申し出は不要です。)
- ・未就学児のご入場はご遠慮ください。
- ・お車でお越しの際は、学内に駐車場がございますので、正門左手側の守衛所にて入構手続きをしたのち、ご利用ください。なお、学内の駐車場は、台数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。

受講料  
無料

後援 埼玉県教育委員会／さいたま市教育委員会

協賛 埼玉りそな銀行／武蔵野銀行／埼玉縣信用金庫  
コープみらい／埼玉大通り商店会／埼玉県商工会議所連合会

お問い合わせ先／埼玉大学総務部広報渉外課

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255

TEL.048-829-7672

E-mail:koho@gr.saitama-u.ac.jp

http://www.saitama-u.ac.jp/society/extension/



第1回 **歪むネット社会の心理**  
—承認欲求の病理とどう向き合うか—

5/28  
14:00~16:10



インターネット上にあふれる侮蔑や嘲笑の言葉、自己顕示欲に満ちた投稿などは、手軽な情報コミュニケーション環境の中で人々の心理の負の側面が強度を増していることをうかがわせます。他人に優越したい、他人から尊敬されたいという古くからある人間心理がどう屈折したのか、負担される諸問題への処方箋はあるのか、哲学的・心理学的に考えてみたいと思います。

教授 **高橋 克也** (大学院人文社会科学研究科)

第2回 **数学の歴史**  
—数学史におけるいくつかの有名な問題—

6/18  
14:00~16:00



本講義では、古代ギリシャの数学者から始まり、数論を発展させてきた著名な数学者の歴史を紹介します。いくつかの具体的な問題を考察しつつ、数学を覆した重要な発見を説明します。とくに、「数学の王者」と呼ばれている19世紀前半の数学者のカール・フリードリヒ・ガウスの革命的な発見を紹介します。

准教授 **コスキヴィルタ ジャンステファン** (大学院理工学研究科)

第3回 **日本の農業における危機と未来**  
—スマート農業を支えるセンサ技術—

7/16  
14:00~16:00



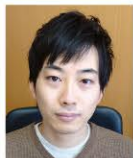
異常気象を原因とした露地野菜の価格高騰や、少子高齢化による人手不足など日本の農業における「危機」を救う存在として、スマート農業の導入が進められています。

スマート農業では、センサ情報から栽培環境や生育状態をモニタリングし、ロボットやドローンを使って農業従事者を支援するなど、さまざまな最先端技術が使われます。この講座では、日本の農業の現状とスマート農業を支えるセンサ技術とその活用について紹介します。

准教授 **長谷川 有貴** (大学院理工学研究科)

第4回 **人口・経済・社会の危機と日本型福祉国家の未来**

8/27  
14:00~16:00



急速な少子高齢化、長引く経済の低迷、格差・貧困の拡大は、日本社会が直面する積年の課題となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、これらの課題はさらに深刻化することが懸念されています。本講演では、そうした実態を統計に基づいて把握するとともに、このような課題にいかに対応すべきか、変容を迫られる日本型福祉国家という観点から考えます。

准教授 **大津 唯** (大学院人文社会科学研究科)

第5回 **多様な文化と生きる**  
—外国につながる子どもたちと教育—

9/17  
14:00~16:00



埼玉県には中国、フィリピン、韓国・朝鮮、ベトナムといった様々な国や地域出身の人々が暮らしています。異文化との出会いは戸惑いだけではなく、私たち自身を豊かにすることにもつながります。外国につながる子どもたちが在籍する教室の中では、共生にむけた新たな文化が創造されているはず。一方で、異質な文化と暮らすことには、困難なこともあります。ここでは、異なる文化とともに生きるということはいかなることなのか、学校を取り上げてお話ししたいと思います。

准教授 **磯田 三津子** (教育学部)

第6回 **災害につよいまちづくり**  
—“彩の国”市民科学オープンフォーラム—

11/5  
14:00~17:10



近年、大水害が頻繁に発生しており、従来の治水対策のみではなく、様々な関係機関の連携や住民の意識変化も含めた総力で、防災・減災する仕組み作りが求められています。住民がリスクを知り行動を起こすための方策、住民の住まい方、災害につよいまちづくりなどでどのような試みが行われているか、さらにこれから、どのような対策が必要か、研究者、行政からの事例紹介を行い、参加者とともに考えていきたいと思います。

教授 **田中 規夫** (レジリエント社会研究センター)

# 危機の時代II

～しなやかな社会を目指して～

埼玉大学と読売新聞さいたま支局の共催による連続市民講座は、本年度で13回目を迎えます。本講座では、毎年一つのテーマをとりあげ、埼玉大学で行われている様々な研究を紹介し、本年度は、昨年度に引き続き「危機の時代II～しなやかな社会を目指して～」をお送りします。コロナ禍をはじめとする様々な問題を抱える中、我々はどのように変化する社会に適応し、生活を営んでいけば良いのでしょうか。統計学から見る日本の社会構造、文化の多様化や歪んだネット社会、日本農業の危機、そして災害につよいまちづくり、などのテーマについて、現代が抱える様々な「危機」の現状をわかりやすく解説するとともに、考え得る処方箋について、様々な分野からアプローチしていきます。また、昨年度に引き続き、社会の課題を地域の皆様とともに考える場として「オープンフォーラム」を企画しました。皆様と情報を共有し、一緒に解決策を考えていく機会にしたいと思います。

埼玉大学は、地域の皆様と寄り添い、親しみを感じていただける大学づくりに励んでいく所存です。

多くの方々のご来場、ご参加をお待ち申し上げます。

副学長(社会連携・広報担当) **川合 真紀**



**■アクセス**

- JR京浜東北線北浦和駅西口より  
埼玉大学行きバス 約15分(約3.5km)
- JR埼京線南与野駅より  
西口バス停：全ての便が埼玉大学を經由 約10分(約2.2km)  
北入口バス停：埼玉大学行きバス 約10分(約2.2km)
- 東武東上線志木駅東口より  
南与野駅西口行きバス(埼玉大学下車) 約25分(約6.5km)